

8月10日、
棕鳩十で
つながろう。

「ハトの日」は、作家・棕鳩十の生誕120年を記念してはじまる、読書と芸術・文化の楽しいお祭りです。

ハトの 日 かごしま

子どもたちの夏休み、8月10日（ハトの日）やその前後、県内各地で読み聞かせや朗読会、講演会やワークショップ、舞台や映画上映、本の展示販売など、さまざまな催しが行われます。

子どもから大人まで楽しめる文化イベントがいっぱい。
棕鳩十を通じて、創造的で豊かな未来につないでいく一日。ぜひ、ご一緒しませんか。

主催：ハトの日実行委員会 事務局：NPO 法人ポラーノ・ポラーリ

website



instagram





ハトの日かごしま とは？

7月中旬～8月下旬

(夏休み期間中)

むくはとじゅう

椋鳩十の作品に触れ読書や芸術を楽しむ日

- ・「ハトの日かごしま」は2025年、椋鳩十生誕120年（昭和100年、戦後80年）という節目の年にスタート。
- ・椋鳩十の作品に触れる機会を増やし、読書や芸術に親しむ1日です。
- ・主旨に賛同する協力団体がゆるやかに連帯して、それぞれが自由にイベントを企画・開催。
- ・各団体は、夏休み期間中（7月中旬～8月下旬）に、8月10日（ハトの日）にちなむイベントを実施します。



各イベントの情報はWebサイトで紹介します

<https://hatonohi.com>

ハトの日かごしま



鹿児島県内各地で読み聞かせや朗読会、講演会やワークショップ、舞台や映画上映、本の展示販売など、みなさんが企画された催しが行われます。「ハトの日かごしま」は、椋鳩十の作品に触れ、読書や芸術を楽しむことを目指すイベントです。「ハトの日かごしま」の取り組みとして登録されたイベント情報は、順次Webサイトで紹介しています。



<こんな企画が開催される予定です>

- ・企画展示・朗読会・朗読コンサート・講演会・読書会・トークライブ・読み聞かせ会・ビブリオバトル
- ・ゲーム・ワークショップ・音楽コンサート・舞台芸術・映画上映会・本の展示・販売・マルシェ・まち歩き
- ・園児・児童・入所者向けのイベント（保育園・学校・施設など、対象者を限定した形）

むくはとじゅう

子どもたちの心に命の大切さを届けた児童文学作家 - 椋鳩十



児童文学作家・椋鳩十
椋鳩十と孫・久保田里花の
幼少期の一枚

椋鳩十は、日本の動物児童文学を確立した作家であり、その出発点は鹿児島にあります。代表作「大造じいさんとガン」は、小学校の教科書に70年以上掲載され続けています。戦時下、言論統制される中でも、椋は動物たちを通して命の尊さや偏らない考え方を伝えました。こうして日本初の本格的な動物児童文学が生まれたのです。

戦後は県立図書館長として文化や教育にも貢献。「母と子の20分間読書」運動を始め、親子の心をつなぐ読書の力を広めました。椋の作品は、自然や食、伝統、民話、生活など、愛情を込めてあらゆる角度から鹿児島やそこで暮らす人々を描いています。これら椋作品から、ふるさと鹿児島の魅力を再認識でき、ひたむきに、力いっぱい生きる

命のきらめきがいかに大切かを感じるはず。頭をうんとやわらかく。固まらせてはいけない」が口癖でもあった椋。ひとつの考えに偏らない、やわらかな考え方ができることは、今、世界中で問われていることではないでしょうか。

児童文学作家・椋鳩十研究家
久保田里花



8月10日 椋鳩十でつながろう。

ハトの日
かごしま

お問い合わせ

「ハトの日 かごしま」実行委員会
事務局：NPO 法人 ボラーノ・ボラーリ
連絡先：090-5507-7579（事務局・吉國）

鹿児島市唐湊2丁目10-2
yoshikuni@tanabata.co.jp